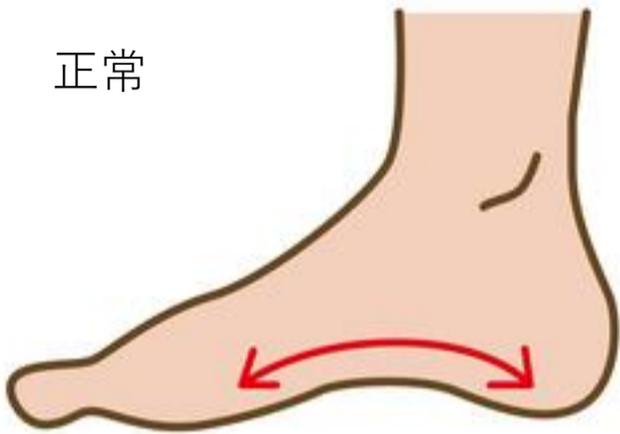


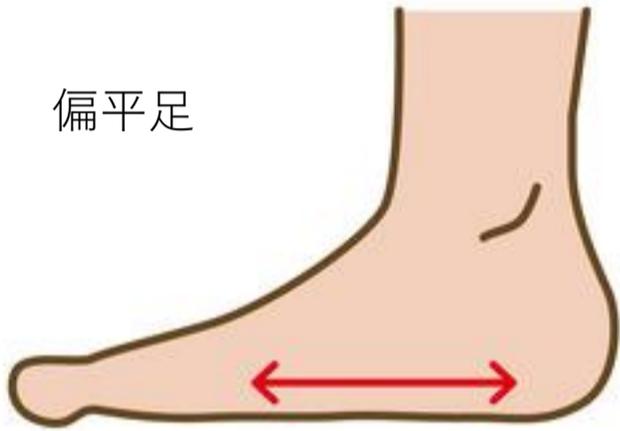
足関節の病態（扁平足）

症状

正常



扁平足



扁平足とは足アーチ（土踏まず）が低下または消失し、足裏が扁平になった状態をいいます。

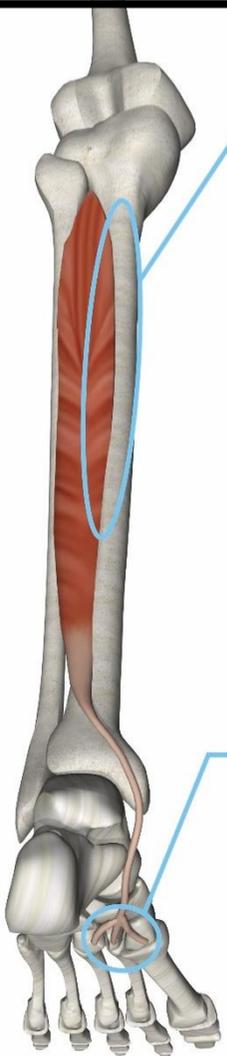
中年期以降に発症する扁平足では内側のくるぶしの下が腫れ、痛みが生じます。

また、つま先立ちがしにくくなり、足が硬くなって歩行が障害されます。

病態

起始

下腿骨間膜、脛骨と腓骨の後面



停止

舟状骨、全楔状骨
（立方骨、第2～3中足骨底まで
停止部が広がる場合も）

足にはアーチ構造があり、効率よく体重をささえています。

内側のくるぶしの下に、アーチをつり上げる働きをする後脛骨筋の腱が通っています。

年齢による腱の変性や体重の負荷によって、この腱が断裂すればアーチは低下します。